

## 芽室倉庫太陽光発電設備新設工事

当社芽室倉庫の太陽光発電設備は環境省「令和3年度ストレージパリティの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業（二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金）」により整備されました。

### 1. 事業の目的

空き地を有効活用するために、野立てで太陽光発電設備を導入し、地域の再エネ主力化とレジリエンス向上を図るため計画しました。

芽室倉庫は作業用動力と倉庫内空調を年中稼働しており、平時でも大量の電力を使用しているため、温室効果ガス排出抑制に役立てると同時に空き地の有効活用も可能であると判断しました。

土曜・日曜、祝日の余剰電力量を考えても十分に再エネ比率の向上が見込まれます。

もしもの停電時には自立型パワーコンディショナーを2台導入しているため、平時の温室効果ガス排出抑制だけでなく、停電時にも事業が継続できるような仕組みを組んでおり、停電時には、屋外と屋内に設置した非常用コンセントにて携帯電話の充電やPCの電源確保といった最低限の電力を使用できるようになっています。

### 2. 事業の内容

#### ①設備の概要

太陽電池モジュール	345W×252枚＝	86.94 kW
パワーコンディショナー	20kW×2台+4.95kW×2台＝	49.90 kW

#### ②平時の役割

平時は動力盤と電灯盤に繋げ、主たる設備である作業用動力と倉庫内空調設備及び倉庫内照明、事務所の照明やPCの電力として活用しています。

日中発電した電力を使用することにより自家消費率の向上が図られています。

副次的効果については当倉庫のエネルギー自給率が向上することで従業員の再エネへの意識が強化しつつあります。

#### ③停電時の役割

自立型パワーコンディショナーにより、停電時には2.45kW×2台の電力を供給できます。

応接室と屋外に非常用コンセントを設けており、屋内・屋外ともに非常時に最低限の電力を使用することができます。

主な使用用途としては、携帯電話の充電とPCの電源確保として考えており、情報の伝達や安否確認は従業員や地域住民もために最重要事項と考えています。

### 3. 事業効果（法定耐用年数期間）

平均の年間CO <sub>2</sub> 削減量	平均の年間CO <sub>2</sub> 削減率	累計のCO <sub>2</sub> 削減量
34.97 t-CO <sub>2</sub> /年	31.37 %	594.49 t-CO <sub>2</sub>